

いしゃくしゃ

▼トレーラー

いしゃくしゃ、いしゃくしゃ、いしゃくしゃ……

歯を擦るような耳障りな声。高熱を出してぐったりと横たわる友人は、意味のわからないうわごとを繰り返しつつぶやいていた。

どうしてこんなことに？ 彼女はなにを見たのだろうか？

暗闇のなか、閉ざされた大地の下には知られざるものが――

知るべきではない真実が横たわっている。

▼シナリオスペック

シナリオタイプ：協力型

セッティング：本当は怖い現代日本

プレイヤー人数：4人

リミット：2サイクル

▼あらすじ

PCたちは県立顎田大学に通う学生や同年代程度の仲間です。PCたちとNPCの「山村エリ」はキャンプに出掛け、楽しい一日を過ごします。しかし翌朝目覚めしてみるとエリがいなくなっていました。テントの周囲にはピラミッドのように積まれた小さな石の山が作られていて、小さな動物のものらしき足跡が無数についています。

探し回った末に発見されたエリは、どこかで転びでもしたのか泥だらけで、高熱を出して朦朧としています。その口は小さく動き、なにごとかうわごとをつぶやいています。歯をこするような耳障りな音で……。

いしゃくしゃ、いしゃくしゃ、いしゃくしゃ……。

エリの身になにが起こったのかを解明するのが、PCたちの目的になります。

■プレイヤー・セッション

プレイヤー・セッションには、セッションの参加者全員のための情報が記載されています。GMは、ハンドアウトの配布・逢魔人の作成の際に以下の情報をプレイヤーに伝えてください。

▼ハンドアウト

PC1~4	使命
(推奨：学生 / 【使命】は共通)	
あなたとキャンプに出掛けた友人の一人、山村エリは夜のうちにテントを抜け出して、山の中をさまよっていたらしい。翌朝発見された彼女は泥だらけで、高熱に浮かされて奇妙なうわごとを呟いていた。 「いしゃくしゃ、いしゃくしゃ、いしゃくしゃ……」 あなたの【使命】は、エリの身に何が起きたのか解明することである。	

▼シナリオの舞台

このシナリオのセッティングは「本当は怖い現代日本」です。

●顎田市

東北地方の日本海に面した寂れかけた地方都市です。PCたちが通う県立顎田大学は近年設立され、小規模な総合大学ですが、他にはないカリキュラムもふくめ、様々な分野を学ぶことができます。『インセイン』および『インセイン2 デッドループ』収録のプレイの舞台と同一の都市です。『デッドループ』には、より詳細な舞台ガイドが掲載されています。

●黒神山地

顎田市の北と東を囲む山地です。標高は低く、黒神丘陵とも呼ばれます。キャンプ場は森林公園の一角にあり、少し下れば溪流釣りなども楽しめます。

▼登場 NPC

●山村エリ

県立顎田大学に通う学生です。美術学科生。元来インドア派なので、珍しい経験であるキャンプをとりわけ楽しんでいるように見えました。彼女はいったいなにと出くわしたのでしょうか……？

エリは共演者（ゲスト）です。恐怖判定や【狂気】についてPCと同様に扱います。ただし、【感情】による情報共有はないものとし、拡散情報も得ません。つまり、PCがわざわざ伝えない限りは、ハンドアウトの【秘密】によるショックや恐怖判定を無視できません。

データは「通りすがり」（『インセイン』p243）のものを使用します。

▼シーン表

このシナリオでは「本当は怖い現代日本シーン表」（『インセイン』p256）を使用します。